

第3回 多田小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成 23 年 9 月 26 日（月）

午後 7 時～9 時

場 所：多田公民館

参加人数：14 名



1 グループワーク

本日は、第 2 回目で検討した「ありたい姿」の実現にむけて、「どういう取組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称し、またその実現にむけた活動の方針などを表す「キャッチフレーズ」を作成した。

《A 班》山口さん、末吉さん、西原さん、秋井さん、梶田さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
みんなが主役のまち	あいさつ、思いやりの声をかけ合うまち <ul style="list-style-type: none"> 明るくみんなに挨拶ができるまち 一人暮らしでも、地域とのコミュニケーションがとれるまち 思いやりの声がけができるまち 大人と子どもが公園で遊ぶまち 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ道路 夏休みの公園ラジオ体操 一人暮らしの会の回数を増やす
安心できる環境	安心して暮らせるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> 天災の少ない、住みやすいまち 子どもを見守る活動が継続できるまち 防災活動が行われるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊の継続と増員を図る 雑草除去や道路清掃
自然と文化の共存	多田神社の歴史に親しみ、猪名川で遊べるまちに <ul style="list-style-type: none"> 猪名川で蛸取り 緑が多いまち 猪名川で魚釣りができ、子どもが水遊びできる 	<ul style="list-style-type: none"> 魚釣りができる川にするため専門家の意見を聞く 川で遊べるイベント（工作や飲食）を行う クリーンアップ作戦を増やす 多田神社までの街道の桜並木の整備と、灯籠をつけ、観光の一助に

テーマ	ありたい姿	取組み
地域のきずな	人とのふれあいできずなを深める まちに <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣近所が仲良いまち ・ 村人と町人の融合 ・ 大人と子どもが集えるまち ・ 若者が集まるようなふれあい喫茶のイベントを考える ・ 全員が自治会に入って仲良くする ・ 自治会の役割の活発化、会員を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会員を増やす ・ 防災とプレーパークセンター（DPC）の活動を拡大する ・ 子ども中心の活動を作る ・ 子育て中の親子サークルを充実させる

【決まったキャッチフレーズ】

春夏秋冬 優しさの輪ではぐむきずな 歴史と自然のまち We love 「多田」
 ~ 春は桜 夏は川遊び 秋は祭り 冬は神社の初詣 ~



《B班》仲谷さん、竹野さん、上田さん、森さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
文化を高めたい	世代を超えて、文化の高いコミュニティ活動で楽しいまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の高いまち ・ コミュニティ活動のレベルアップ ・ イベントの多いまち（文化祭、夏祭り、運動会） ・ 世代間交流のできる場所がある ・ 地域のまつりで仲良く伝統を大切に ・ 近所の交流を大切にするまち ・ 図書館のあるまち ・ 漢字能力の高い地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙芝居「地域の歴史や民活」（現在六作目） ・ 世代を超えた文化の高いコミュニティ活動を展開する ・ 後継者をつくる ・ 行政の後押しと、子どもたちからの育成 ・ 思い出づくり

テーマ	ありたい姿	取組み
住みよい環境	<p>故郷を愛して欲しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の祭りで仲良く、伝統を大事にするまち（多田神社の秋祭り） ・ 思い出のつくれるまち ・ 地域に愛されるコミュニティ活動のあるまち ・ 地域の後継者を育てたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域後継者育成のための行政の後押し、子どもの頃からのイベント参加
人間関係の多いまち	<p>世代交流ができ憩える場所のあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の交流を大切に ・ 高齢者が出かけやすい ・ 高齢者の憩いの場所がある ・ 高齢者が便利に生活できる ・ 健康維持できるまち ・ お医者さんが沢山いるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの場所をつくる
子育てサークルがある	<p>子どもが安心して育ちやすいまち、親子がなごめる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てサークルがある ・ 親子が和める場所がある ・ 子育てしやすい環境 ・ 公園の多いまち ・ 運動公園のあるまち ・ 子どもの居場所のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅開発と同時に公園をつくる ・ 運動公園もほしい ・ 子ども教室を充実させる

【決まったキャッチフレーズ】

帰ってこいよ！！魅力ある多田



《C班》蓮池さん、山脇さん、柳生さん、吉永さん、加藤さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
心のつながり	<p>おとなから子どもまで住みやすいつながりのあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰とでも挨拶し合えるまち ・ 自治会にみんなが参加する ・ 気持ちが通い合う地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すすんで挨拶する ・ 小中学校と地域の交流をする ・ プライバシー緩和活動の推進

テーマ	ありたい姿	取組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者も地域活動に参加するまち ・ 子どもたちが帰ってくるまち ・ 三世代が仲良く暮らせるまち ・ 人と人のつながりがあるまち ・ コミュニティ行事に沢山の人が参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に一声かける ・ 学校の授業に道徳(しつけ、礼儀)を入れる ・ 家庭、学校、地域連携の具体的方策の研究調査
安心安全なまち	<p>犯罪を寄せつけず、人と車が思いやりを持って行きかうまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道幅が広い地域 ・ 安全に歩ける道路 ・ 安心して仕事に行く事ができるまち ・ 夜も安心して歩けるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道幅を広げる ・ 声かけ運動 ・ あいさつをする ・ 近所で仲良くする ・ 子どもに大人が声をかけたときに子どもが怖がらない教育 ・ 家族の安全は家族で守る ・ 夜間、家の門灯をつける ・ 街灯を増やす
活気のあるまち	<p>子育てしやすい活気のあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代が住みやすい町 ・ 交通の便利なまち ・ こどもがのびのび遊べるまち ・ 子どもが自由に遊べる公園のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の誘致 ・ 総合病院の誘致 ・ ボランティアのポイント制度導入 ・ 高齢者の役割のある場をつくる ・ 地区別の祭りを一つにまとめ山車を出す ・ 住宅整備と同時に公園をつくる
豊かな自然のある町	<p>春は桜、夏は鮎と蛭、猪名川で共演する自然豊かなまち、多田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の減少に歯止めをかけたい ・ 猪名川を清流にし、鮎が住めるようにしたい ・ 桜並木を後世に伝えたい ・ 多田駅から神社に通じる美観性の高い町並みを残したい ・ 公園の多くあるまち ・ 猪名川の河川敷の他には無いスペースを活用したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川に濁り水を流さない ・ 川の掃除、ゴミ拾いをする ・ 草引きをする ・ 公園の敷地を確保する ・ 現公園を整備する
歴史を大切にす るまち	<p>歴史を大切にす るまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統、歴史を大切にす るまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猪名川、多田神社の歴史文化を説明できる人を育成 ・ 多田の歴史を勉強する ・ 多田神社観光ガイドになる ・ 源氏祭りの武者をもっと多くする ・ 子ども達と歴史紙芝居を作成する ・ 多田神社の特徴をテレビ、ラジオで宣伝する

【決まったキャッチフレーズ】

清流猪名川と源氏の歴史を育み、心ゆきかう元気でやさしいまち多田



2 各班の発表概要

A 班

・春は桜、夏は川遊び、秋は祭り、冬は神社の初詣、という地域のいいところをキャッチフレーズに込めた。ありたい姿を実現するための取組みについては、猪名川を活かす活動や、防災安心手帳の発行、若い人との絆を形成する喫茶イベントなど様々なアイデアが出た。



B 班

・キャッチフレーズは、最初は「出ていくな」という言葉を使って考えていたが、むしろ出て行っても帰ってきてほしい、という願いをこめて「帰ってこいよ!!」とした。皆が帰ってきてやすいように、魅力ある地域にしていきたい。



C 班

・ありたい姿では、心のつながりをつくるために、子どもの教育・しつけが重要だという意見が出た。また、活気のあるまちにするために、ボランティアをポイント制にするアイデアがあがった。地域の安心のためには、隣近所で声を掛け合う日常的な努力が重要だという話になった。



3 おわりに

最後に、市：本荘総合政策部長よりひとこと。

- ・ 各班それぞれ想いが詰まったキャッチフレーズができた。みなさんの気持ちを損ねないように注意しながら、市で一つにまとめる作業をしていく。
- ・ 現在策定中の総合計画は、これまでとは違う内容になる予定で、市としても初の試みである。多田小地域をこんな風にしていきたいというみなさんの気持ちを、具体的な行動に移してもらえれば、市もできる限り協力したいと思っている。
- ・ 今後はリーダー養成講座なども実施するので、手を挙げていただきたい。どうもありがとうございました。